

所長	部長	技監	課長	課員
[Redacted]				

平成29年1月10日

東部農林事務所長 様

治山課 [Redacted]

下記のとおり出張したので復命します。

記

表 題：熱海市伊豆山地内における伐採について

日 時：平成29年1月10日 10:00～11:30

場 所：熱海市伊豆山 地内

同行者：熱海市観光経済課 [Redacted]

対応者： [Redacted]

経 緯

H28.6.30に無届伐採の恐れがあるため現地確認を行った熱海市伊豆山地内の山林について、太陽光発電施設設置の伐採届が熱海市に提出され、現地確認への同行を熱海市より依頼された。現地は過去に [Redacted] が違法開発をした箇所の隣接地でもあるため、同行して現地確認および業者への聞き取りを行った。

なお、熱海市への伐採届は12月26日付けで提出された。着手の1か月前までに伐採届を提出する必要があるため、作業期間は1/27～7/20。宅造や風致についてはすでに許可済み。

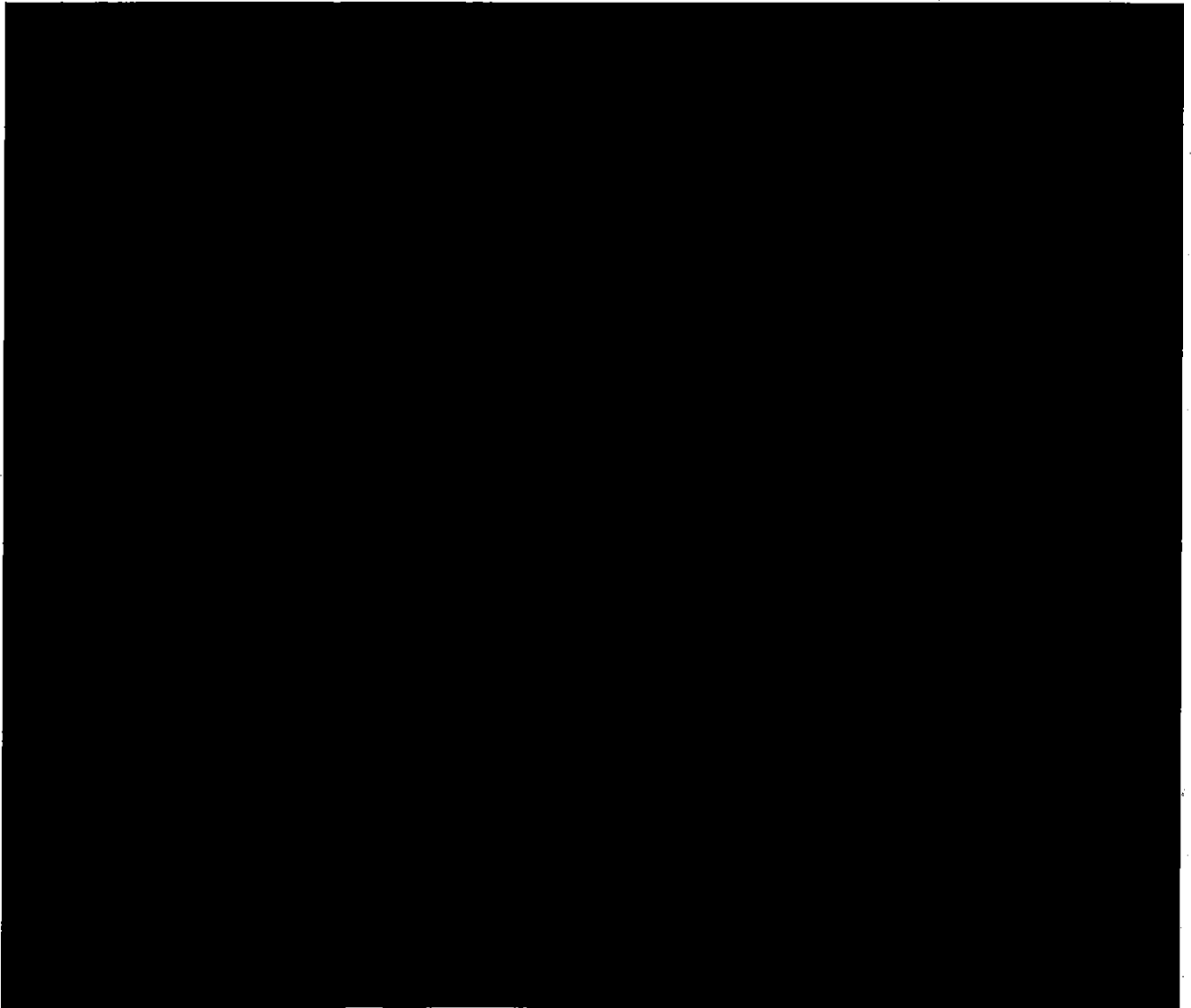
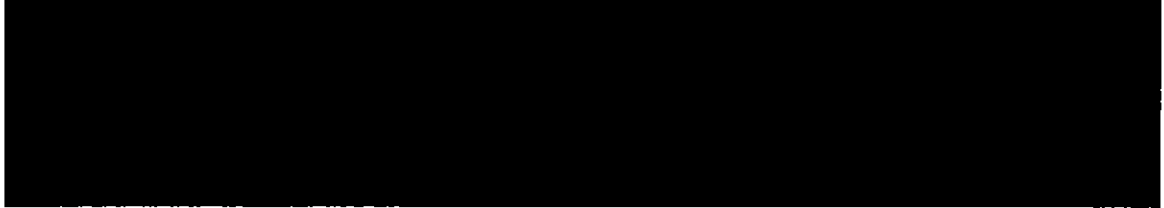
現地の状況等



[Redacted] 市より測量に伴う刈り払い以外の伐採等の中止を指示した。



今後の対応等



規則第7条第1項の届出書の様式

伐採及び伐採後の造林の届出書

平成 28 年 12 月 26 日

市町村長 殿

住 所

届出人

次のとおり森林の立木を伐採したいので、森林法第10条の8第1項の規定により届け出ます。

1 森林の所在場所

熱海市伊豆山字宝司ヶ嶽の一部

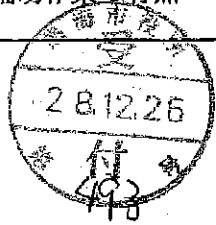
2 伐採の計画

伐採面積	0.8106 ha		
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐	伐採率	49.87%
伐採樹種	ソノタコウヨウジュ		
伐採年齢	52-54		
伐採の期間	平成29年1月27日～平成29年7月20日		

3 伐採後の造林の計画

(1) 造林の方法別の造林面積等の計画

造林面積 (A + B + C + D)	ha
人工造林による面積 (A+B)	ha
植栽による面積 (A)	ha
人工播種による面積 (B)	ha
天然更新による面積 (C+D)	ha
ぼう芽更新による面積 (C)	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 () ・なし
天然下種更新による面積 (D)	ha
天然更新補助作業の有無	地表処理・刈出し・植込み・その他 () ・なし



(2) 造林の方法別の造林計画

	造林の期間	造林樹種	樹種別の造林面積	樹種別の植栽本数
人工造林 (植栽・人工播種)			ha	本
天然更新 (ぼう芽更新・天然下種更新)				
5年後において適確な更新 がなされていない場合				

(3) 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途

太陽光パネル設置

4 備考

--

注意事項

- 1 伐採する森林の所在する市町村ごとに提出すること。
- 2 伐採する者が伐採後の造林に係る権原を有しない場合にあつては、伐採する者と当該権原を有するものが連名で提出すること。
- 3 氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。
- 4 森林の所在場所ごとに記載すること。
- 5 面積は、小数点第2位まで記載し、第3位を四捨五入すること。
- 6 樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくるまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。
- 7 伐採方法欄には、皆伐、択伐又は間伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。
- 8 伐採年齢欄には、伐採する森林が異齡林の場合においては、伐採する立木のうち最も多いものの年齢を記載し、最も年齢の低いものの年齢と最も年齢の高いものの年齢とを「○～○」のように記載すること。
- 9 伐採の期間が1年を超える場合においては、2の伐採計画を年次別に記載すること。
- 10 造林面積欄には、伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合その用途を記載した場合を除き、主伐に係る伐採面積と一致するよう記載すること。
- 11 植栽による面積欄には、市町村森林整備計画において植栽によらなければ適確な更新が困難な森林として定められている伐採跡地の面積を下回らないよう記載すること。
- 12 天然更新補助作業の有無欄には、当該作業を行う場合には、地表処理、刈出し、植込みなどの作業の種類を記載すること。
- 13 造林樹種欄及び樹種別の造林面積欄には、複数の樹種を造林する場合には、造林する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 14 樹種別の植栽本数欄には、植栽する樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 15 5年後において適確な更新がなされていない場合欄には、造林の方法を天然更新による場合（伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途を記載した場合にあつて、伐採の終了した日から5年後において当該用途に供されていないときを含む。）における造林の期間、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の植栽本数を記載すること。
- 16 伐採後において森林以外の用途に供されることとなる場合のその用途欄には、伐採後5年以内において当該伐採跡地が森林以外の用途に供されることとなる場合のみ記載すること。

(別紙)

市町名:

森林の所在場所				伐採面積 (ha)	伐採材積 (m³) ※1	伐採の方法	伐採率 (%)	伐採樹種	伐採齢	伐採の期間	伐採後の造林の方法	天然更新の場合		伐採後の造林の期間 ※2	伐採後の造林樹種 ※2	樹種別の造林面積 (ha) ※2	樹種別の植栽本数 (本) ※2	伐採跡地の用途 ※3	備考		
林班番	小枝番	大字	地番									補助作業	その他詳細								
041	は 006 000	伊豆山	■	0.8106		皆伐	100	ソノタヨウカヨウジユ	52-54										太陽光パネル		
																	0.00				0
計																					

造林の方法	面積 (ha)	人工造林		天然更新	
		造林面積	植栽本数	造林面積	植栽本数
人工(植栽) A	0.00	0.00	0	0.00	0
人工(播種) B	0.00	0.00	0	0.00	0
計 A+B	0.00	0.00	0	0.00	0
天然(ぼう芽) C	0.00	0.00	0	0.00	0
天然(下種) D	0.00	0.00	0	0.00	0
計 C+D	0.00	0.00	0	0.00	0

※1 伐採材積は森林簿に掲載された材積を参考に記載しても構いません。
 (森林簿の情報は、インターネット上の「静岡県森林共有システム」で確認できます)
 ※2 造林の方法が天然更新の場合は、5年後において的確な更新がなされなければならない場合に造林計画を記載すること。
 ※3 伐採後5年以内において、森林以外の用途に供される場合に記載すること。

様式

伐採調査書 (小規模林地開発)

届出時・変更時・完了時 *作成時点により、いずれかを○で囲む

土地所有者		住所 氏名	No.		位置図	
開発行為者		住所 氏名	No.		位置図	
開発行為の目的		太陽光パネル設置				
所在場所		熱海市伊豆山字宝司ヶ嶽の一部				
面積	全体面積	5 条 森林面積	5 条 森林面積	5 条 森林の		
	ha 20.59	ha 13.67	ha 0.8106	変更面積		
事業期間		平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日				
防災施設等の設置	計画完了	調整池・沈砂池・擁壁・排水施設・柵工				
緑化計画	計画完了	残置森林・造成森林・造成緑地・法面保護				
他法令許認可の状況		関係法令等	手続状況	備考		
		市町村土地利用				
		都市計画法				
		農振法・農地法				
		土探取条例				
		砂利採取法・採石法				
		農振法				
		その他 ()				
備考						

【記載注意】

(1/25,000)

1 本調査は、伐採届出書の「伐採跡地の用途」欄に森林以外の利用目的が記載されている場合について作成する。
(「伐採跡地の用途」が「稲刈」であっても、土石の採取等森林が一時的に他の用途に使用される場合は作成する。)
ただし、森林法施行細則第10条の規定による林地開発行為の通知(連絡調整)に該当する案件については、作成不要である。

2 「開発行為の目的」の記載は、下記の分類による。

- ・ 工場、事業用地
- ・ 土石採取
- ・ 住宅地
- ・ 道路の新設・改設
- ・ レジヤール施設
- ・ 廃棄物等の処理施設
- ・ 農用地
- ・ その他

① () 欄には、開発行為の具体的内容を記入する。

(例) 病院、個人住宅、製茶工場、穂物園、茶畑、農道等

② 土石採取等は、跡地利用に保わらず「土石採取」に分類し、() 欄に跡地利用を記入する。

③ 別荘等の有差分類(伐採面積が1ha以下)を行う場合は、道路等の造成は「道路の新設改設」に分類し、その後、土地の購入者が住宅を建築するときの伐採は「住宅地」に分類する。

3 面積は、haを単位として小数第4位まで記載すること。

4 防災施設等の内容については、該当箇所を○で囲む。

5 添付図面：

位置図 (1/25,000 本調査に貼付)

伐採届出書の写し

森林計画図 (1/5,000・A3又はA4)

土地利用計画平面図 (A3又はA4)

6 計画時・完了時いずれかを○で囲み、届出内容に変更がある場合は、変更箇所を赤書きで2段書きすること。

【現地実施状況の確認】

<裏面>

確認内容	届出時(着手時)	①	②	③	④
開発行為に係る森林面積	ha	ha	ha	ha	ha
現地確認・指導年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
伐採調書の内容どおり事業が実施されているか。					
伐採調書の区域と現地造成区域に相違ないか。					
その他(特に記載すべき事項)					

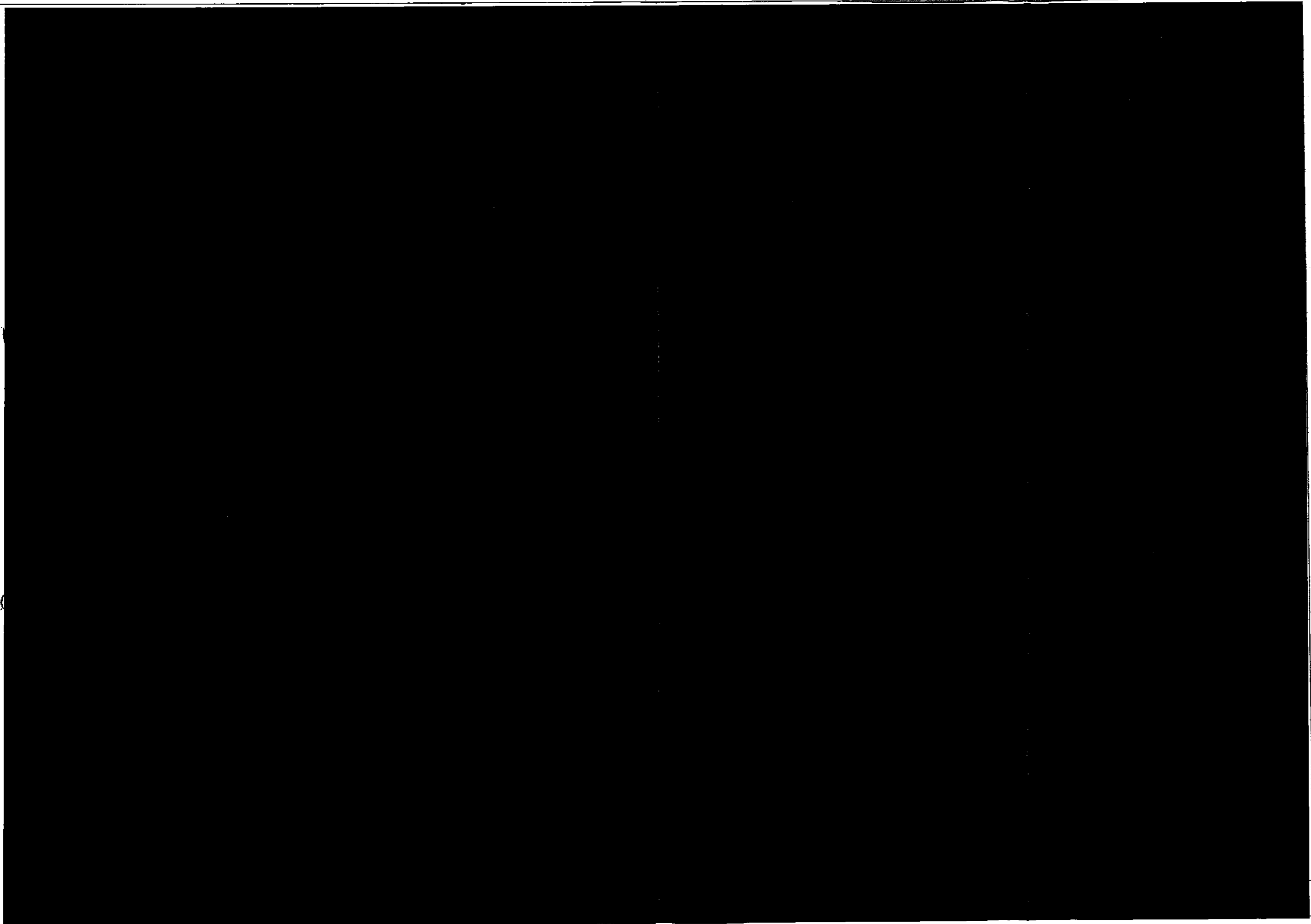
確認内容	⑤	⑥	⑦	⑧	完了時
開発行為に係る森林面積	ha	ha	ha	ha	ha
現地確認・指導年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
伐採調書の内容どおり事業が実施されているか。					
伐採調書の区域と現地造成区域に相違ないか。					
その他(特に記載すべき事項)					

*事業が完了するまでの間、半年に1度程度を目安に現地調査を実施し、結果を森林事務所へ報告する。

*他法令の註認可に該当する場合は、その現地調査をもって確認調査に代えることができる。

*変更があった場合は、事業者へ変更調書の提出を指導する。

*事業者へ指導等を行った場合は、指導した年月日及びその他の欄へ指導内容を記載する。



現況図 S=1:500

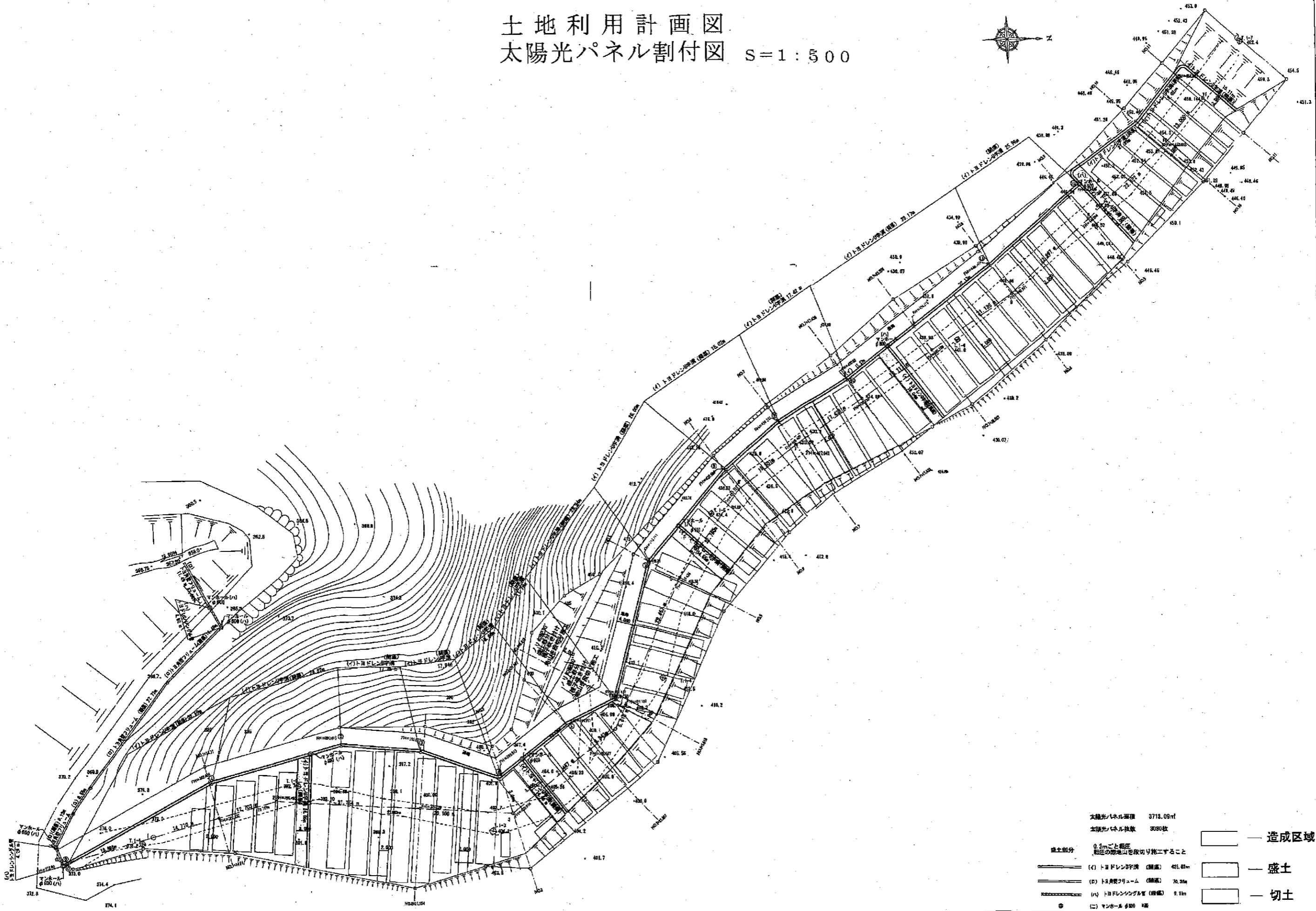


— 造成区域

SCALE DWG. NO.

PROJECT

土地利用計画図 太陽光パネル割付図 S=1:500



太陽光パネル面積	3713.09㎡		— 造成区域
太陽光パネル枚数	3090枚		— 盛土
盛土部分	0.5mごと幅圧 掘削の跡地山を段切り施工すること		— 切土
(A) トリドレン字溝 (幅)	45.42m		
(B) トリドレン字溝 (幅)	70.30m		
(C) トリドレン字溝 (幅)	9.11m		
(D) マンホールφ300			